

平成 24 年 10 月 29 日

OpenFrame を活用した Mainframe to Cloud (M2C) サービスの提供開始について

ニッセイ情報テクノロジー株式会社(略称:NISSAY IT、本社:東京都大田区、代表取締役社長:和田俊介)では、平成 24 年 10 月 31 日より、メインフレーム リホスティング ソリューションとして数多くの実績を有する「OpenFrame」と、VMware vSphere™によるクラウドサービス基盤を組み合わせた「Mainframe to Cloud (M2C)」の提供を開始します。

今日多くのメインフレームユーザが、UNIX や Linux 等のローコストオープン環境への移行(ダウンサイジング)を検討しております。しかしながら、アプリケーションの書換えやそれにかかる費用、時間、およびリスクにより、思い通りに環境移行が出来ていないのが実情です。

日本ティーマックスソフト社が提供する「OpenFrame」ソリューションは、オープン・プラットフォームへの資産移行ツールと、メインフレーム同様の機能をもつミドルウェアを提供する、画期的なリホスティング・ソリューションとして、既に数多くの実績を有しています。

また、VMware 社の提供する VMware vSphere は、全世界で 8 割を超える仮想マシン環境で使用されており、企業の IT 基盤としての業界標準として、基幹業務アプリケーションの実行環境としての信頼性や堅牢性の実証されたテクノロジーとして評価されています。

今回の、OpenFrame と VMware vSphere によるクラウドサービス基盤を組み合わせた「Mainframe to Cloud (M2C)」の提供開始によって、既存のメインフレームユーザは、現行ホストのプログラムやデータ等の資産に修正を加える事なく、オープン化による柔軟性の向上やコスト低減に加えて、更にクラウドコンピューティングならではの拡張性や災害対策をも実現した圧倒的なコストパフォーマンスを誇る IT 基盤へと移行する事が可能となります。

なお、来る 11 月 6 日(火)、7 日(水)の 2 日間、東京港区のザ・プリンス パークタワー東京で開催される「vForum2012」にて、vCloud パートナースポンサーとして本サービスの紹介を行います。

【Mainframe to Cloud (M2C) の特徴】

・従来の業務ロジックがそのまま利用可能

「OpenFrame」は、レガシーアプリケーションで使用されていたビジネスロジックのアドバンテージを継承、有効に活用するため、業務の連続性が図れると共に、マイグレーションによる導入コストやリスクの低減が図れます。

・オンラインとバッチの同時支援によるトータル・リホスティング

「OpenFrame」はメインフレームで使用していた「オンライン」や「バッチ」など、既存の一つの分野のソリューションに限定した支援ではなく、全てのアプリケーションやデータ、端末画面などをオープン環境に移行するために必要な構成要素をご提供するトータルソリューションです。

・オープン・プラットフォームでの優れた拡張性と連携性

「OpenFrame」アーキテクチャは、単に従来のメインフレームの類似環境をご提供するためのソリューションではありません。「OpenFrame」の構成モジュールはオープン環境の最新技術である「TP モニター」、「WAS」を基盤として稼働しているため、「OpenFrame」そのものが次世代システムを運用するのに十分なソリューションであるといえます。その上、基盤技術が「TP モニター」、「WAS」の標準仕様に準拠しているため、他システムとの連携及び拡張性にも優れています。

また、「OpenFrame」は独自の処理エンジンを開発し、JCL を付加的な変換作業なしで処理することができます。これにより、UNIX/Linux 環境上で JCL を処理する場合、UNIX/Linux シェルスクリプトや他社のスクリプト方式よりシンプルな記述できめ細かな処理制御が継承できます。

・統合された開発及び管理環境の提供

メインフレームでは実現が難しかった GUI によって、システムの各種資源やジョブの稼働状況などのモニタリングが可能になり、より便利で使いやすい環境となっています。

また、新規 COBOL プログラムや JCL を継承した開発に必要な環境を統合画面でご提供しているため、操作性が大幅に向上します。

・実行環境はクラウドに最適化

信頼性、保守性、性能はそのままに、圧倒的なコストパフォーマンスを発揮します。

また、プライベートクラウド、パブリッククラウド双方の活用も可能な為、システム要件によってオンプレミスに保持する、あるいはオフプレミス化による非保有資産化を図る事も可能となります。

今回の発表に際して、VIE ユーウェア株式会社 代表取締役社長の三木泰雄氏は以下のように述べています。

「VIE ユーウェア株式会社はニッセイ情報テクノロジー様による M2C (Mainframe to Cloud) サービスの市場投入を歓迎します。

メインフレームの運用を続けている多くの日本企業は、極めて高い運用コストに悩まされ続けており、コスト削減とシステムのスリム化の両立という課題を抱えています。本サービスは「メインフレームからクラウドへ」という新たな潮流を体現するサービスのベストプラクティスになると期待しています。

VIE ユーウェア株式会社は、弊社認定サービスプロバイダパートナーであるニッセイ情報テクノロジー様との関係の下、引き続きお客様に最適なクラウドソリューションを提供してまいります。」

※ 記載の会社名や商品名は、それぞれ各社・各団体の商標または登録商標です。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

経営企画部

TEL:03-5714-4612 E-mail: info@nissay-it.co.jp

【ソリューションに関するお問い合わせ先】

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

インフライノベーション事業部

TEL:03-5714-5836 E-mail: ds_info@nissay-it.co.jp

当リリースに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。